

# 報告書骨子案

## I 検討の背景

- 中小企業を取り巻く環境
- 検討の趣旨

## II 現状認識

### 1. 中小企業の会計を形作る枠組み

#### (1) 企業会計に関する法的枠組み

- 会社法会計
- 金融商品取引法会計
- 税法会計

#### (2) 中小企業の会計を巡るこれまでの経緯

- 平成14年商法改正以前の状況
- 中小企業の会計に関する研究会報告書（中小企業庁）
- 中小会社会計基準（日本税理士会連合会）、中小会社の会計のあり方に関する研究会報告書（日本公認会計士協会）
- 中小企業の会計に関する指針

### 2. 中小企業の実態

- マクロから見た中小企業の特徴
- ミクロから見た中小企業の特徴
  - ・資金調達の方法
  - ・利害関係者の範囲
  - ・会計処理の方法
  - ・経理体制

### **Ⅲ 問題意識**

#### **(1) 中小指針の特徴**

- 基本的な考え方

#### **(2) 研究会における指摘**

### **Ⅳ 中小企業の会計に関する基本的な考え方**

#### **(1) 検討対象の範囲**

- Ⅱ 2. の特徴を有する中小企業全般

#### **(2) 検討に当たっての基本的視点**

- 中小企業の成長に資するものであるべきという視点
  - ・経営者に役立つ会計
  - ・利害関係者と繋がる会計
  - ・実務に配慮した会計
  - ・実行可能な会計

### **Ⅴ 今後の対応の方向性**

#### **1. 今後の対応の方向性**

#### **2. 取りまとめの手續**

- 中小企業の主導的参加
- 取りまとめの手續

#### **3. 国際会計基準との関係**

- IFRS とのコンバージェンスに伴う中小企業への影響の遮断もしくは最小化